



Nara
Women's
University

Today

編集：奈良女子大学広報企画室

第11号
2008.10.24

平成 20 年度「大学院教育改革支援プログラム」に、2件 「質の高い大学教育推進プログラム」に、1件が採択されました

大学院教育改革支援プログラム

「女性の高度な職業能力を開発する実践的教育」（人・社系）
「理系の実践型女性科学者育成」（理・工・農系）

文部科学省の事業である「大学院教育改革支援プログラム」は、「新時代の大学院教育」（平成 17 年 9 月 5 日中央教育審議会答申）、「大学院教育振興施策要綱」（平成 18 年 3 月 30 日文部科学省）等を踏まえ、社会の様々な分野で幅広く活躍する高度な人材を育成する大学院博士課程、修士課程を対象として、優れた組織的・体系的な教育取組に対して重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化を推進することを目的として、平成 19 年度から実施されているものです。

平成 20 年度は、すべての学問分野を対象とし、「人・社系」、「理・工・農系」、「医療系」の区分で公募を行い、161 大学から 273 件の申請が受け付けられ、独立行政法人日本学術振興会において運営される「大学院教育改革支援プログラム委員会」（委員長：石 弘光 放送大学長）にて審査が行われ、47 大学からの 66 件（採択率 24.2 パーセント）が採択され、今年度から 3 年間実施が支援されます。

採択率が 2 割台という中、本学から申請された 2 件すべてが採択されたことは快挙です。大学院学生の比率が高いという本学の特徴を踏まえて、これらプログラムの実施を契機に、より一層優れた大学院教育が展開されることが期待されます。

質の高い大学教育推進プログラム

「地域貢献活動を活用した理系女性人材育成」

文部科学省の事業である「質の高い大学教育推進プログラム」（平成 20 年度予算額 86 億円）は、大学設置基準等の改正等への積極的な対応を前提に、各大学・短期大学・高等専門学校から申請された、教育の質の向上につながる教育取組の中から特に優れたものを選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国全体としての高等教育の質保証、国際競争力の強化に資することを目的とします。

今年度は 488 大学等から 939 件の申請があり、独立行政法人日本学術振興会で運営される「質の高い大学教育等推進事業委員会」（委員長：佐々木毅 学習院大学教授）にて審査が行われ、148 件（採択率 15.8 パーセント）が採択されました。

各プログラムの詳細については、大学ホームページをご覧ください。

100th
Anniversary
奈良女子大学創立100周年

百周年まで 200 日足らず、記念行事も続々計画

～ 2009（平成 21）年 5 月 1 日に創立百周年を迎えます～

去る 7 月 5 日（土）には、本学女性研究者共助支援事業本部主催により、佐保会館で文化勲章受章者の岡田節人先生による講演会が開催されました。

来年 5 月 2 日（土）には大学内を会場とした創立百周年記念行事が、5 月 16 日（土）には奈良ホテルを会場とした創立百周年記念式典・祝賀会が実施されます。今後は、紅葉に色づく京都を会場として、本学にゆかりのある方々に関する講演会、絵画、そして音楽も交えた、文化の秋格好のイベントが実施されます（右記参照）。また、11 月 29 日（土）には、記念館で本学女性研究者共助支援事業本部主催によりシンポジウム「奈良女子大学における男女共同参画の歩みと展望」が、来年 3 月 14 日（土）、15 日（日）には奈良女子大学主催により「女子中高生のための関西科学塾」が開催されます。

これらのイベントについては、詳細が決まり次第、創立 100 周年記念事業ページ（<http://www.nara-wu.ac.jp/100th/>）でお知らせいたします。どうぞご期待ください。



特別企画ポスター

京都国立近代美術館での特別企画

「岡潔博士没後 30 年記念講演会」

11 月 23 日（日）14 時～16 時

文化勲章受章者で、本学で教員を務めた岡潔博士の業績、生き様についての講演会

「百年ピアノ」特別演奏会

11 月 23 日（日）、24 日（月）17 時 30 分開演（予定）

世界的ピアニストであるアルバート・ロト氏によるリサイタル

特別陳列「明治時代製造国産鍵盤楽器」

11 月 22 日（土）～24 日（月）

本学所蔵の「百年ピアノ」と佐保会所有の「アップライトピアノ」と「リードオルガン」の展示

小倉遊亀画伯と奈良女子大学

11 月 18 日（火）～24 日（月）

文化勲章受章者で、本学卒業生である小倉遊亀画伯の 3 作品等の展示

共生科学研究センター主催 「小中高校生向け東吉野村野外体験実習」

～小中高校生 26 名が、一泊二日で自然に触れ合う～

共生科学研究センターでは、8月3日(日)～4日(月)の一泊二日で、東吉野村の共生科学研究センター分室(旧四郷小学校)を拠点として、小中高校生対象の野外体験実習を開催しました。



川の生物に親しむ参加者

小学生 23 名、中学生 1 名、高校生 2 名の計 26 名(その他一部の保護者も参加)が参加し、定員が満員となって実施されました。1日目は、四郷川に生息する魚や水生昆虫を捕まえた後、種名を調べたり食物連鎖などを学習しました。夜には星座観察会も開催され、普段は身近に親しむことの少ない美しい川や満天の星空に触れ、参加者には新鮮な体験となったようでした。2日目は、地元の林業家に講師をお願いし、枝打ちなどの林業体験なども行いました。自然に触れ合う体験実習を様々な年齢層の参加者で共有することができ、子ども達には夏休みの貴重な思い出となったようです。

イノベーション・ジャパン 2008 -大学見本市-

9月16日(火)～18日(木)の3日間、東京有楽町の東京国際フォーラムで「大学見本市」が開催されました。本学は昨年より出展していますが、今年は「医療・健康」分野において、共生科学研究センター三方裕司准教授の「高い親和性を有する蛍光性金属イオンキレーター(除去剤)」の研究成果を紹介しました。専門性の高い内容でしたが、熱心に質問される方も多くおられました。



奈良女子大学ブースで説明する三方准教授

農林水産省の提案公募型委託事業に 理学部岩井教授の研究課題が採択

農林水産省の提案公募型委託事業「平成 20 年度新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業(省エネルギー化・新エネルギー対策技術)」に、理学部岩井薫教授が応募した研究開発課題「超低燃費航行を実現するハイドロゲルを用いた船底塗料の開発」が採択されました。

本事業は、近年、原油価格が高騰し農林水産業の経営に深刻な影響を与えているため、施設園芸、漁船等の生産現場で速やかに普及しうる省エネルギー技術の開発を行うとともに、地域で再生可能な自然エネルギーの利活用や未利用エネルギーの有効活用など経済的な新エネルギーの利活用を低価格・低ランニングコストで導入できる技術の開発を目的としています。

岩井教授の研究開発は、現行の船底塗料とは異なり、低摩擦抵抗性を有する高分子ハイドロゲルを塗膜化することにより海中での摩擦抵抗を低減する機能を持たせ超低燃費航行を実現し、併せて海洋環境に悪影響を与える防汚物質の溶解をさせない非溶出型船底防汚塗料の開発を目的とするものです。

学生支援 GP「チャレンジする女性の キャリア形成支援」のプログラムがスタート



「キャリア形成支援システム」イメージ

文部科学省から公募の「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」(学生支援 GP)に選定された本学の取組「チャレンジする女性のキャリア形成支援」は、平成 19 年度から 4 年間にわたり実施されています。

平成 20 年 9 月には、「キャリア形成支援システム」が web 上で本格運用され、ユーザー登録や情報収集が可能となりました。このシステムは、卒業生・修了生に対して、結婚・出産・育児などの女性のライフサイクルに即したキャリア形成をサポートすることを目的としています。また、本学卒業生・修了生相互の情報交換の場を提供するとともに、卒業生・修了生のネットワークを形成することも目的の一つとしています。このネットワークによって、本学に在学している学生・院生の就職活動等への支援や、本学が実施しているキャリア教育などにも卒業生・修了生の皆様のご協力をいただき、本学の就職支援体制の充実にも繋げられることが期待されます。是非ご利用ください。

(<http://career01.nara-wu.ac.jp/career/user/Top.php>)

若手女性研究者支援経費採択通知式

～18名に総額400万円の研究支援経費が配分～

7月1日(火)事務局管理棟第2会議室において、今年度の若手女性研究者支援経費採択者に対する採択通知式が開催されました。この支援経費は、35歳未満の大学院博士後期課程2回生以上の優秀な学生等に対し、その研究活動を支援するために、平成 17 年度から実施されています。今年度は 22 名の応募があり 18 名が採択されました。採択者は「奈良女子大学大学院奨励研究員」の名称を付与され、総額 400 万円の研究支援経費が配分されます。



(前列左から)清水副学長、久米学長、野口研究科長と採択者

大学ラウンジ(仮称)建設と耐震工事

文学部南棟 1 階で大学ラウンジ(仮称)の建設工事が始まりました。ラウンジ利用以外に、セミナーやセミナー開催なども可能な開放的でアカデミックなスペースとなるように計画されており、今年中に完成予定です。



完成予想イメージ(外観)

また、順次実施されている耐震工事は、今年度は理学系 B 棟と附属中等教育学校管理棟で行われています。

佐保会ホームページがリニューアル

同窓会である社団法人佐保会のホームページがリニューアルされました。やさしく明るい色調で、訪問者に分かりやすくなっています。是非ご利用ください。(http://www.nara-wu.ac.jp/dousoukai/sahokai/)



トップページのイメージ

キャリアデザインゼミナール授業風景

～多彩な講師陣が実務に根ざした講義を実施～

教育の柱として「キャリア教育科目」を掲げている本学では、就職や進学などの将来設計に早期から取り組むための科目群として、スキルの習得や実地体験を通じ、実践力をつけることを目的とする「キャリアデザインゼミナール」を開講しています。ここでは、7月から8月にかけて実施された授業の一部をご紹介します。「企画書作成スキル習得」



「企画書作成スキル習得」授業風景

(講師：社会連携センター藤野特任准教授) では、社会人として不可欠な様々なパソコンソフトを活用することを目的に、約20名の学生が実践的な講義を受講しました。「現代社会と職業」(講師：吉野事務局長(管理運営担当理事)) では、本学教職員や学外者を講師としてリレー形式で実施され、「職業」という視点から、生きることの意味と現代社会の仕組みを学びまし



「現代社会と職業」授業風景

た。吉野事務局長からは、実体験に基づいて大学職員の役割やその魅力についても言及があり、卒業生でもある女性職員からは出産・育児と仕事の両立についての事例紹介もあり、学生は熱心に受講し、職業観形成の一助となったようでした。

課外活動サークルの活動状況について

～第46回近畿地区国立大学体育大会の成績～

8月に開催された第46回近畿地区国立大学体育大会のバレーボール競技及び弓道競技において、本学バレーボール部と弓道部が準優勝しました。そのほか、水泳、卓球、バドミントン、剣道の各競技で惜しくも4位となるなど健闘し、総合成績女子の部では、11大学中6位の成績を収めました。

奈良女グッズが続々新登場

～大学写真集と百周年記念切手シートが登場～



写真集の表紙とページ(一部)

季節も感じられるデザインです。

写真集、記念切手シートともに奈良女子大学生協(Tel 0742-23-5016)で取り扱っています。なお、これら収益の一部は奈良女子大学百周年記念事業募金に寄贈されます。(http://www.nara-wu.ac.jp/100th/goods.html)

創立百周年を記念して、オリジナル写真集と記念切手シートが作成されました。

写真集には、記念館や大学構内の四季を感じて頂ける写真が多数収録されています。

記念切手シートには、記念館や明治時代製造の国産「百年ピアノ」のほか、大学構内から望む若草山の山焼きなど、奈良の



記念切手シート

近鉄奈良駅イメージ広告をリニューアル

～創立百周年もアピール～

大学の認知度を向上させるUI(University Identity)プランの一環として、平成17年から近鉄奈良駅の地下コンコース東券売機前にイメージ広告を2枚設置しており、8月に1枚をリニューアルしました。



左側がリニューアルした面

来年5月に創立100周年を迎えることを明記し、歴史ある大学であることをアピールしています。世界遺産に囲まれた古都奈良に立地することを印象付ける写真も掲載し、大学の認知度とイメージ向上に役立つことが期待されます。

入試広報活動 -第1回目のオープンキャンパス開催-

7月26日(土)に今年度第1回目のオープンキャンパスが開催されました。36.3度という猛暑にもかかわらず、929組1,690名という過去最多の参加者に来学いただきました。



在学生相談コーナー

久米健次学長の挨拶に始まり、新宮入試課長からの大学紹介の後、模擬講義、学部学科の特色や教育研究に関する紹介、入試や学生生活等に関する個別相談、在学生によるキャンパスツアーとして学生寄宿舎の見学など様々な催しを行いました。参加者の方々には緑と世界遺産に囲まれた奈良女子大学の恵まれた環境を実際に体験頂き、進路決定のための有意義な時間となったようです。11月1日(土)には、学園祭に合わせて第2回目のオープンキャンパスが開催されます。

-各地で説明会を開催-

6月21日(土)には富山市で、8月9日(土)には代官山(東京都渋谷区)で佐保会との共催による大学説明会が実施されました。富山では3回目、東京では昨年度の盛況を受け2回目の開催となり、同窓会からも活動状況を報告いただきました。



同窓会活動報告
(初尾 佐保会東京支部長)

10月4日(土)には名古屋市で文学部編入試験相談会を、10月11日(土)には大阪市で文学部編入学及び文学系大学院入学に関する入試相談会を開催しました。編入学や大学院入学に関する入試相談会は、春は主に理学・生活環境学系、秋は主に文学系対象の相談会として実施しています。

これら以外にも、奈良女子大学では、全国各地で年間を通じて開催される進学説明会や相談会に教職員を派遣するなど、積極的な入試広報活動を展開しています。

今年度から文学部ではAO選抜が導入されます

平成21年度入学者選抜から、文学部では従来の推薦入学に替えて、「AO(アドミッションオフィス)選抜」を実施します。AO選抜とは、大学の求める学生像(アドミッション・ポリシー)に基づき、能力、適性、意欲、関心などについて多角的に評価する方式によって実施されるものです。募集人員は12名で、9月26日(金)から願書受付、10月18日(土)に第一次選考、11月23日(日)～24日(月)に第2次選考が実施されます。今までの知の枠組みにとらわれず、柔軟で個性的な、自分で課題を発見し解決に取り組もうとする積極的な学生を求めています。

日本人学生と留学生の交流事業

もっと、「日本人の学生と交流したい」「留学生と話したい」こんな声に応えて、8月2日(土)初めての交流事業を実施しました。泉州岡田浦で地引網を体験し、力いっぱい網を引いた後は、海鮮バーベキューでおなかいっぱい、おしゃべりいっぱいの、楽しいひとときを過ごしました。



イチ、二、イチ、二…と掛け声高く

帰国留学生報告会(学長との懇談会)



留学生生活を熱く語る

学生交流協定に基づき留学していた学生が帰国したのを機に、学長を囲んで懇談会形式の報告会を実施しました。留学先での様々な体験談を熱心に語ってくれる学生に、学長からいろいろな質問が寄せられ、にぎやかな懇談会となりました。懇談会には、今年派遣される学生も同席し、留学生活のアドバイスを求めたこともあり、予定時間を超過しましたが、有意義な報告会になりました。

短期語学研修

8月22日(金)から9月19日(金)にかけて、南京大学での語学研修を実施しました。続いて、ニュージーランド・リンカーン大学での学生の英語力増進のため、語学研修の実施計画があります。2009年2月から3月にかけて4週間程度の研修を予定しています。このような、短期の語学研修を継続的に実施することで、学習成果を期待しています。



修了生のフェアウェルパーティー

国際交流基金使途報告

平成20年度は、次のとおり留学生等に対し支援を行う予定です。

- ・外国人留学生奨学金 9名(博士後期課程2名、博士前期課程7名) 一人月額4万円1年間 計432万円
- ・派遣留学奨学金 5名 一人10万円 計50万円
- ・留学生スピーチ大会援助
発表者に一人1万円の図書カード 10名分 計10万円

～奨学金授与式～

(派遣学生奨学金6月10日、外国人留学生奨学金6月24日) 奈良女子大学国際交流基金(平成12年度設立)から、外国人留学生及び協定校への派遣留学生に対する奨学事業を実施しています。今年度選考の外国人留学生9名、派遣留学生5名を対象に奨学金採用決定通知書授与式を挙行了しました。式では、久米学長から対象者に決定通知書を授与するとともに、基金設立の趣旨や事業実施の経緯等についての説明の他、授与者各位の活躍について激励の言葉がありました。その後、式に列席の清水副学長、井上副学長等を交え、授与者との懇談が行われました。

なお、この事業の実施から今年度までの奨学金授与者は、延べ103名にのぼっています。



留学生奨学金授与式

外国人留学生実地見学旅行

9月24日(水)～25日(木)、日本の歴史・文化・自然等について理解を深め留学生相互の親睦を図ることを目的として、今年度は愛知・浜名湖方面への見学旅行を実施しました。一日目は明治村を散策し、館山寺温泉に宿泊。二日目は西尾の抹茶を味わい、常滑焼を体験しました。



常滑焼に挑戦中

国際交流往来

☆5月29日(木)～6月3日(火) 南京大学日本学科葉琳教授を招聘し、本学との連携強化について懇談しました。

★協定大学との連携強化のため、小山国際交流センター長が、8月26日(火)～29日(金)は蘇州大学、9月16日(火)～19日(金)は南京大学を訪れ、国際交流関係者と面談し、友好な交流の継続や連携プログラムの模索など発展的な連携方法について、懇談しました。



南京大学 zuo 国際交流合作処長と



南京大学での大学説明会

★9月17日(水) 訪問先の南京大学で、留学希望の学生向けに説明会を行いました。日本学科以外の学生も含め60名ほどの学生が熱心に小山センター長と同行の国際課職員から話を聞き、盛んに留学に関する質問をしていました。

～交流協定大学への教員派遣～

教員派遣に関する協定を結んで3年目の実施となる、南京大学及び蘇州大学への教員派遣事業を行いました。大変有意義な交流であり、引き続き連携体制を維持していきたいと考えています。国際交流センター主催の本事業では、学生を同道して教室運営や教授法等の研修を行うとともに、現地大学の学生との交流を通して異文化の理解や国際的視野の醸成を図ることを目的としています。



★9月16日(火)～23日(火)、文学部 奥村教授公開授業
奥村悦三教授が、学生3名を同道し、南京大学で日本語学について講義を実施しました。



瀬渡教授公開授業

★9月17日(水)～26日(金)、生活環境学部瀬渡章子教授が、学生2名を同道し、蘇州大学で住まいをテーマにした講義等を実施しました。

国際シンポジウムでのパネラー講演

7月19日(土)、お茶の水女子大学及び日本学生支援機構主催の国際シンポジウム「21世紀に生きる女子大学」が東京国際交流館で開かれ、久米学長と本学元留学生で元教員でもあった賓月珍大連理工大学教授がパネラーとして参加しました。



左から4人目、久米学長

編集・発行 奈良女子大学広報企画室

編集責任者 清水哲郎(副学長)

連絡先 奈良女子大学総務・企画課

〒630-8506 奈良市北魚屋東町

Tel 0742 (20) 3220 Fax 0742 (20) 3205

E-mail admin@jimu.nara-wu.ac.jp

